

# 江別市の小中一貫教育の目的

小中連携教育のうち「目指す子ども像の共有」と9年間を通じた教育課程を編成し、系統的な教育を目指す

## 目指す子ども像

夢へのチャレンジ  
人への優しさ  
未来をひらく子どもたち

9年間の教育活動において、子どもたちが将来を見据え自らの夢や目標の達成にむけて果敢に挑み、思いやりの心を持って他者を理解し互いを尊重し合うことで、自らの手で変化の激しい社会を切り拓いていくことが重要であることから、上記の目指す子ども像を設定しました。

# 15歳の具体的な姿

- 将来のビジョンを明確にし、その実現のために自ら進んでねばり強く努力できる。
- 自他の良さを認め、思いやりの心で尊重し合い、協働できる。
- 社会で生きる知性と、たくましい心身で未来を創造できる。



江別第一小 いずみ野小 北光小



第三中

一目でわかる！

令和6年度保存版

# 三中校区 小中一貫教育

江別第一小教育目標    いずみ野小教育目標    北光小教育目標    江別第三中教育目標

<ul style="list-style-type: none"> <li>○思いやりをもち 助け合う子</li> <li>○すすんで学び よく考える子</li> <li>○ねばり強く やりぬく子</li> <li>○心もからだも たくましい子</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○心豊かで 思いやりのある子</li> <li>○丈夫な体で やり抜く子</li> <li>○自ら考え 表現する子</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○明るい態度でみんなと 助け合う子ども</li> <li>○強い意志で心と体を 鍛え合う子ども</li> <li>○自ら進んで 考えを深め合う子ども</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○意欲的に学習に向かい、粘り強く課題を追求する生徒</li> <li>○自他を敬愛し、豊かな心をもつ生徒</li> <li>○物事を正しく判断し責任ある行動がとれる生徒</li> <li>○働く喜びを感じ心身ともに健康な生徒</li> </ul>
--	---	--	--

「一目でわかる小中一貫教育 PDF 版」は、各校ホームページよりダウンロードできます

# R6の小中一貫教育

## 学習と生活のスタンダード

### 「あいさつ」をしよう

相手の目を見て・聞こえる声で相手に伝えよう。  
自分から、先に挨拶しよう。

### 「言葉づかい」に気をつけよう

場に応じた言葉づかいをしよう。

### 思いやりの心を持とう

素直に「ありがとう・ごめんなさい」をしよう。  
相手の気持ちになって行動しよう。

### 「きまり」を守ろう

ルールやマナーを守る人になろう。  
時間の守ってけじめのある行動をしよう。

### 学習の準備をしっかりとしよう

忘れ物をしない。  
休み時間に授業道具の準備をしよう。  
チャイムがなる前に着席しよう。

### 落ち着いて学習に取り組もう

授業のあいさつをしっかりとしよう。  
姿勢に気をつけて、話をしっかりと聞こう。

### 進んで学習に取り組もう

発表や課題に積極的にとりくもう。

### 家で勉強する時間を作ろう

目標に向かって努力しよう。  
本を読もう。

三稜  
8つの約束

学びやすい学習に

※第一小は、一中校区ともこの8つのスタンダードを共有しています。

## 9年間を見通した系統的な指導

☆ 江別市で作成した教科系統表をもとに、三中校区の小学校と中学校の教員がともに「これからどう学習していくのか」「これまでどう学習してきたのか」9年間のつながりを意識し、三中校区版の教科系統表を作成しました。各教科で以下のことを重点として指導します。

<p><b>国語</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「話し合うこと」に重点をおいて指導します。</li> <li>○話し合いの中で求められる技術（メモの取り方、理由の伝え方、情報の受け取り方など）を、発達段階に応じて指導します。</li> </ul>	<p><b>理科</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○地学分野、特に地球や月、天体に関わる学習に重点を置いて指導します。</li> <li>○小学校段階で学習する天体に関する学習内容と中学校段階で学習する内容のつながりを意識した指導になるよう工夫します。</li> </ul>	<p><b>図美術</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○絵画表現活動に重点を置いて指導します。</li> <li>○作品制作の基礎となる道具の使い方や表現活動を広げる指導を行います。</li> </ul>
<p><b>算数数学</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○足し算、引き算、割り算、かけ算（四則計算）に重点を置いて指導します。</li> <li>○四則計算の中でも、分数の四則計算に特に重点を置いて指導します。また、分数の四則計算の知識・技能が重要となる単元を系統的に重点とします。</li> </ul>	<p><b>英語</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○自分のことを相手に伝えるコミュニケーション活動に重点を置いて指導します。</li> <li>○発達段階に応じて、伝える内容を自分のことから社会的な事象へと広げるよう工夫します。</li> </ul>	<p><b>保健体育</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○球技に重点を置いて指導します。特にネット型スポーツ（バレーボールなど）について、基礎的な技能の習得を意識した指導を一貫して行います。</li> </ul>
<p><b>社会</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○地理的分野、特に都道府県の名称・位置、地域的特色の理解に重点を置いて指導します。</li> <li>○各都道府県の地理的・歴史的条件と、それによってもたらされる特色について系統性を意識して指導します。</li> </ul>	<p><b>音楽</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○鑑賞の学習のうち、拍や拍子/リズム/速度や強弱の変化/音階や調について特に重点を置いて指導します。</li> <li>○これらの指導が中学校での合唱や器楽演奏における曲想の理解と表現など、音楽的表現に繋がるように指導します。</li> </ul>	<p><b>特別支援</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ふれあい合同レクを年に1回以上実施し、小中の交流を深めていきます。</li> <li>○中学校卒業後の進路を見据えて、小中合同で高等支援学校の見学を行います。</li> </ul>

## 入学説明会

- ☆ 三中に入学予定の小学校6年生と保護者を対象に入学説明会を行います。
- ☆ 令和5年度は、中学校生活の一日の流れや生活と学習のきまりについて中学校教員から説明を聞いたあと、小学生の事前アンケートをもとに生徒会書記局の生徒が小学生の不安や疑問に回答する場面を設定しました。その後、中学校教員による体験授業を行いました。
- ☆ 中学校教員から保護者の方に、小学校生活と中学校生活の違いや、制服、教科書などの学用品、諸経費など入学に関わる説明を行いました。



## 中学校体験入学

- ☆ 中1ギャップの緩和のために、小学校6年生が中学校で授業体験を行います。
- ☆ 令和5年度は、第一小を2グループに分け、国語と数学の授業を体験しました。いずみ野小と北光小は合同で数学の体験授業に参加しました。その後、中学校で給食を食べ、中学校の空き教室で小学校の担任が授業を行いました。
- ☆ 中学校の教員が小学校の担任の授業を参観し、小学生の授業中の様子を観察しました。



## 部活動見学・体験

- ☆ 令和5年度は、野球部、バスケットボール部、バドミントン部、卓球部、剣道部、マンドリン部、美術部、パソコン部の見学・体験を実施しました。
- ☆ 顧問の指導のもと練習メニューを体験したり、中学生に教えてもらいながら実際に演奏や制作体験を行うことで、部活動のイメージを膨らませることができました。
- ☆ 当日は生徒会書記局の生徒が校舎を案内し、小学生と交流しました。保護者の方も一緒に来校することができます。



## 各種調査・アンケート

下記の調査・アンケート項目で、15歳の具体的な姿の達成状況を測ります。

- <15歳の具体的な姿>
- 将来のビジョンを明確にし、その実現のために自ら進んでねばり強く努力できる。
  - 自他の良さを認め、思いやりの心で尊重し合い、協働できる。
  - 社会で生きる知性と、たくましい心身で未来を創造できる。

- 三中校区アンケート
- 「将来の夢や希望はありますか」 小中ともに70%以上
- 「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」 小中ともに70%以上
- 「自分にはよいところはありますか」 小中ともに70%以上
- 「学校に行くのは楽しい」 小中ともに90%以上
- 「学校の授業以外の平日の学習時間1時間以上」 小中ともに70%以上、小高学年60%以上
- 体力運動能力調査
- 「運動やスポーツをすることが好き」 小中ともに70%以上
- NRT、全国学力・学習状況調査 正答率 小中ともに全国平均以上